



学校教育目標：自ら学び、進んで行動し、互いを認め合う生徒の育成

西有田中学校だより

第 26 号 (2026.2.17)

文責：中尾 恵子

至誠一貫

「感謝」と「お陰」

三寒四温を繰り返して春に向かうこの時期は、「もうひと頑張り！」や「何となく不安」な気持ちと、「4月からの変化」への期待など、様々な気持ちが入り混じりますね。そのような中に、12日は卒業を控えた3年生のテーブルマナー給食が実施されました。超豪華なメニューに大変驚き、美味しく頂きました。

学校で提供される給食は「学校給食法」で厳しく規定され、提供されています。有田町では、年間190食を基準に計画（義務教育9年間では1,710食）され、毎朝配達される材料（ほぼ冷凍食品使用無し）や調味料等が、調理員さんの手を経て、美味しい給食に変身しています。

約3時間半の調理時間で、毎食約280名分（ご飯、汁物、主菜・副菜）を4~5名で調理されています。右上画像は調理員さんとの交流会の様子です。調理員さんの話で印象に残っていることはお団子の調理だったそうです。1名当たり5個を食べるとして、一人で1,300個を切り分け、丸め、ゆであげられたそうです。かなりの驚きと同時に、当たり前のように温かく美味しい給食を食べることのありがたみを感じる瞬間でもありました。更に残りの日数で「感謝」と「お陰」感じてくれたらと思う時間でした。



調理員さんとのふれあいタイムでは、じゃんけんゲームをして楽しんでいました。



第 67 回度卒業証書授与式

思い出に残る卒業式にしたいと思っています。今年度も県立高校一般選抜入試と卒業式の間には3年生の登校日が一日だけあります。3月5日（木）は、卒業式練習や修了式を行います。

2学期も終盤に差し掛かり、3年生の中に一足早く進路が固まりつつある人もいる中で、先週末に1・2年生の学年末テストが終了しました。1・2年後には、3年生が現在経験している「試練の時」がやってきます。「高校に行く」には、試験を受けて合格すること、中学校での学習面と生活面が両立できていなければ実現できません。高校入試問題は新聞に掲載されます。学力面では、問題を解いてみることで現時点での自分の学力を把握する機会となります。理解が不十分であったり努力が足りていなかったりするところが見えてきます。生活面では、時間を守り、決められたことに一生懸命に取り組むことを大切にしてください。毎日の積み重ねが確実に大きな力に変わります。